

# 果樹における営農型太陽光実証研究

営農しながら上部空間で発電を行う営農型太陽光発電では、設備により日光が遮られるなど栽培への影響が考えられます。そこで、比較的日陰でも影響が少ないとみられるブルーベリーとキウイフルーツで、栽培実証を行いました。

＜太陽光発電設備＞



＜発電設備下に落ちるパネルの影＞



表1 太陽光発電設備がブルーベリーの収量・果実品質に及ぼす影響

品種	試験区	収量 (g/樹)	糖度 (Brix)	酸含量 (%)
ブライトウェル	太陽光発電設備区	1,546	10.6	0.7
	対照区	1,815	10.2	0.5
	分散分析	n.s.	n.s.	n.s.
バルドウィン	太陽光発電設備区	2,027	12.0	0.7
	対照区	2,152	11.1	0.7
	分散分析	n.s.	n.s.	n.s.

表2 太陽光発電設備が‘静岡ゴールド’の収量・果実品質に及ぼす影響

試験区	収量 (t/10a)	糖度 (Brix)	クエン酸含量 (%)
太陽光発電設備区	1.8	15.5	0.57
対照区	1.8	15.6	0.63
分散分析	n.s.	n.s.	n.s.

- ・遮光率（パネル＋架部材面積/設置面積×100）35.6%の設備下のブルーベリーおよびキウイフルーツ栽培において、収量と果実品質の低下は確認されませんでした。